



# えんじゅ

春日市立春日小学校  
校長室便り No.10  
令和5年9月20日  
文責：校長 福島

## そして子供たちは「かすがっ子」になっていく



自然教室に行ってきました。

私は春日小に赴任して4年半になりますが、5年生と6年生の成長を4年半みてきました。自然教室に行った5年生は、赴任と同時に入学してきた子供たちです。たくましく成長してきました。この自然教室が、学校のリーダーとして飛躍するための自信を深める場となるよう担任の先生たちと計画を進めてきました。

私はキャンプファイアーを担当しました。1部は火の神に扮して厳かな雰囲気をつくります。マニュアルでは3部も火の神が閉じるのですが、あえて「春日小の校長」として話をしました。「君たちは、私が春日小に来た時に入学した子供たちです。入学式の私の話に『はい』とかわいい返事をしていました。大きくなったね。素直で優しい学年に成長しました。素直で優しい心は君たちの宝物です。今日の思い出をずっと心にしまっておけるよう、最後にみんなの大好きな歌を歌いましょう。手をつないでください。」

あなたが笑ったら 僕も笑いたくなる あなたが泣いていたら 僕も泣いてしまう  
難しい顔 難しい話 今はちょっと置いて置いて笑えますか  
きっとこの世界の共通言語は 英語じゃなくて笑顔だと思う  
子供だとか大人に関わらず 男だとか女だとかじゃなく  
あなたが今楽しんでいるのか「幸せ」と胸張って言えるのか  
それだけがこの世界の全てで 隣でこの歌唄う 僕の全て (福笑い 高橋優)

真っ暗闇の中、炎を見ながら手をつないだ友達のあたたかさと共に何かを感じてくれていたらうれしいです。

手前味噌ですが、春日小の先生たちは愛情を持っていてねいに子供たちを指導しています。入学・転入すれば「かすがっ子」ですが、指導によって「かすがっ子」になっていきます。自然教室や修学旅行に行くと学校の文化があることを強く感じます。その文化が引き継がれていきます。

場が人をつくります。自然の中で自信を深めた5年生のかすがっ子、週を開けて一層たくましく感じました。